

事務事業マネジメントシート（令和4年度実施分）

事業名	オーラルケア28(にいはいち)プロジェクト			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	保健医療局口腔保健支援センター	根拠法令	健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律		近年、歯科口腔が全身の健康やWell-being向上に寄与するというエビデンスが示されていることから、28本(親知らずを除く)ある永久歯を生涯健康に保つため開始。
開始年度	令和3年度	行政計画	なし		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(事業手段)	成果(見直し判断基準)
	・乳幼児・学齢期市民 ・成人期市民 ・高齢期市民		
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか	令和4年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ■関係者WG開催、福岡市歯科口腔保健推進協議会に事業内容等報告 ■市長及び関係者によるプロジェクト記者発表実施 ■事業の実施 (継続事業:4件)ポケモンスマイルではみがき大作戦、産婦歯科健診、高齢者口腔ケア推進事業、SNSを活用した啓発 (新規事業:5件)ワンコイン歯科節目健診、デンタルチェック18~20、bitescanとガムを活用した咀嚼力アッププロジェクト、ケアメン(男性介護者)の料理教室「噛む」×認知症予防編、おいしいオーラルフレイルチェック	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 関係者で策定したアクションプランの計画期間が令和8年度までに設定されていることから、同年度に事業評価等を行ったうえで継続可否等を再検討する。
	28本(親知らずを除く)ある永久歯を生涯健康に保ち、健康寿命の延伸とWell-beingの向上につなげる。		

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				成果の指標(KPI)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	・ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健推進の取組実施		・歯科健診受診 ・歯科口腔に対する意識の向上					・かかりつけの歯科医院をもち、定期的に歯科検診を受診する市民が増える。 ・セルフケアとプロフェッショナルケアの両立を実践する市民が増える。		・自身の歯を生涯保つ市民が増える。 ・口腔機能を維持している高齢者が増える。 ・市民の健康寿命が延伸する。 ・社会保障費の伸びが抑制される。			
	指標の内容		実績		目標			指標の内容		実績		目標	
活動の指標	新たな歯科口腔保健推進事業の創出数(累積)	年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終年度	過去一年間に歯科検診を受診した者の割合※プロジェクト評価年度であるR8にあわせて調査予定	年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終年度	
		目標				R8年度		目標	-	-	-	R8年度	
		実績	5	10	10	12		実績	未調査	未調査	-	65%	
	達成率	166.7%	142.9%			達成率		-	-				
	目標					R年度		目標				R年度	
	実績							実績					
	達成率						達成率						

				事業区分	重点
基本計画					
施策コード	主	1-3-1		施策成果指標	なし
	再	-			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり				
事業群	ライフステージに応じた健康づくり				
行政運営プラン					
取組方針	なし				
推進項目					

事業費(千円)			
令和4年度決算額(見込額)			
歳出合計		16,605	
歳入	特定財源	348	
	一般財源	16,257	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R3	R5
歳出合計		14,963	35,486
歳入	特定財源	726	584
	一般財源	14,237	34,902

事務事業マネジメントシート（令和4年度実施分）

事業名	特定健診事業	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	保健医療局保険医療課		根拠法令	高齢者医療の確保に関する法律
開始年度	平成20年度		行政計画	特定健診・特定保健指導実施計画
国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者	実施内容 (事業手段)	令和4年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・特定健診受診率向上推進会議による取組み状況の共有等、各区と本庁の一体的な推進体制の強化。 ・DM、SMS及び架電による個別勧奨の実施。 ・市政だより等による広報。 ・医師会との連携による医療機関への受診促進依頼。 ・国保連のシステムを活用し、未受診者で治療中の人の検査データを収集し特定健診を受診したものとみなす「医療情報収集事業」を実施。 ・加入保険に関係なく、出かけるついでにさまざまな健診を受診できる「よしみ健診」を実施。	成果(見直し判断基準) どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質の維持・向上を図るとともに、今後の医療費の伸びを適正化させるため、継続的に実施。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を的確に抽出する。			

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・広報・啓発 ・受診勧奨 ・健診を受診しやすい環境づくり ・特定健診以外の健診データの活用	・特定健診受診率の向上 ・特定保健指導対象者の的確な抽出	特定保健指導の実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症や重症化させる人の増加が抑制される	生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質が維持・向上されるとともに、医療費の伸びの適正化が図られる	
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	活動の指標	年度	R3年度	R4年度	R5年度
特定健診受診率	目標	35.5%	38.0%	40.0%	R5年度
	実績	26.9%	集計中	40.0%	40.0%
	達成率	75.8%	-		
特定健診継続受診率	目標	68.0%	69.0%	70.0%	R5年度
	実績	63.1%	集計中	70.0%	
	達成率	92.8%	-		

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主再	1-3-1	施策成果指標 健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	ライフステージに応じた健康づくり			
行政運営プラン				
取組方針	なし			
推進項目				

事業費(千円)			
令和4年度決算額(見込額)			
歳出合計		658,761	
歳入	特定財源	228,353	
	一般財源	430,408	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R3	R5
歳出合計		686,106	643,436
歳入	特定財源	231,763	220,710
	一般財源	454,343	422,726

事務事業マネジメントシート（令和4年度実施分）

事業名	特定保健指導事業・特定保健指導の遠隔実施モデル事業	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	保健医療局保険医療課		根拠法令	高齢者医療の確保に関する法律
開始年度	平成20年度		行政計画	特定健診・特定保健指導実施計画
国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者 特定健診の結果、特定保健指導の対象基準に該当した者	実施内容(事業手段)	令和4年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・特定健診・特定保健指導等に関する連絡会議を開催し、実施率向上に向けた協議を実施。 ・新たに、特定保健指導未利用者に対し、特定保健指導の意義や重要性の周知強化を図るため、利用勧奨通知を送付。 ・医療機関と対象者の負担軽減や利便性の確保を目的に、ICTを活用した「特定保健指導の遠隔実施モデル事業」を拡充のうえ継続実施。事業の効果検証により、今後の本格導入に向けた検討を実施。	成果(見直し判断基準)	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質の維持・向上を図るとともに、今後の医療費の伸びを適正化させるため、継続的に実施
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 保健指導実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症・重症化を予防する。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	・未利用者施策の実施 ・実施機関の負担軽減策の検討	・特定保健指導実施率の向上	メタボ該当者及び予備軍が減少する	生活習慣の改善が図られ、生活習慣病の発症や重症化させる人の増加が抑制される			
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)			
	活動の指標	年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終年度	
特定保健指導実施率	目標	36.0%	38.0%	40.0%	R 年度		
	実績	29.3%	集計中	40.0%	R 年度		
	達成率	81.4%	-	-	R 年度		
	目標				R 年度		
	実績				R 年度		
	達成率				R 年度		
	指標の内容	実績	目標	R3年度	R4年度	R5年度	最終年度
	メタボ該当者の減少率	年度	目標	未設定	未設定	未設定	R 年度
		実績	▲19.5%	集計中	未設定	未設定	R 年度
		達成率	-	-	未設定	未設定	R 年度
	腹囲-2cm、体重-2kgの改善が図られた者 ※遠隔実施モデル事業実施分	目標	未設定	未設定	未設定	未設定	R 年度
		実績	44.0%	31.5%	未設定	未設定	R 年度
		達成率	-	-	未設定	未設定	R 年度

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主再	1-3-1	施策成果指標 健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	ライフステージに応じた健康づくり			
行政運営プラン				
取組方針	なし			
推進項目				

事業費(千円)			
令和4年度決算額(見込額)			
歳出合計		48,931	
歳入	特定財源	46,646	
	一般財源	2,285	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R3	R5
歳出合計		42,312	61,077
歳入	特定財源	45,263	16,168
	一般財源	▲ 2,951	44,909